

社会

6年生 | 「わたしたちの生活と政治」

消費者物価指数から社会事象を考えよう

1. はじめに

最近、社会科でも「思考力の育成」というキーワードを目にすることが多い。例えば6年生の児童だったら、間接的な資料をもとにして、今おきている社会事象の原因や理由がわかるようにしたい。そこで今回は、総務省統計局が5年ごとに出している消費者物価指数の品目をもとに、最近の社会事象を考える授業プランを紹介する。

2. 新規に追加された主な品目を考える

2015年、2010年の品目の中から、画像を使った3ヒントクイズ形式で予想させ、最近ではどのような品目が追加されたのかを考えさせる。

- 紙おむつ(大人用) …大人→介護施設→商品画像
- ETC車載器…車→高速道路の料金所→商品画像
- 補聴器…お年寄り→耳→商品画像
- 電動アシスト自転車…自転車→坂道→商品画像
- 警備料…一人暮らし→感知器→機械警備の画像

3. 名称変更された品目から変更された理由を考える

- 蛍光灯 → 電球・蛍光灯

電球が追加されたのは、日本人がノーベル賞を受賞した青色LEDの発明により、白色のLED電球が普及し始めたからである。

- 音楽ダウンロード料 → ウェブコンテンツ料

2010年に新規に追加された項目が2015年に名称変更となっている。携帯電話がスマートフォンへと移行する中で、音楽だけではなくアプリの課金も含まれるようになったためである。

この2つの品目は今後、さらに名称変更するかどうかを考えさせるとおもしろい。

4. 外れた品目から外れた理由を考える

続いて、今まで調査していた品目の中で2015年、2010年の調査から外れたものを表示し、外れた理由を考えさせる。

- サッカーボール…サッカーだけに限らないが、競技者人口は緩やかに右下がり減り続けている。
- 運動靴(子ども用)…トラックを速く走るための子ども用運動靴が流行したが、全体的に見れば児童数減少に伴い、子ども靴の市場規模も縮小している。
- お子様ランチ…以前は2つ3つと注文されることが多かったが、最近は1つだけの注文が多いそうである。
- アイロン…理由が出てこなかったら、ワイシャツの画像を見せて考えさせる。形状記憶機能のついたワイシャツが増え、アイロンの需要が減っている。
- ETC車載器…前回新しく入ったばかりなのに外れた理由は、2014年3月に行われた、国土交通省による調査で、ETC利用率が90%近くあったことから見てとれる。普及が進んだことと、新車に標準装備されることが多くなったため調査の必要が薄くなった。

5. 全体から見えてくることはなんだろう？

これまで出てきたものをキーワードで束ねてみる。

- 子ども用運動靴、サッカーボール、お子様ランチ→「少子化」
- 警備料(女性の一人暮らし増加)→「晩婚化」
- 大人用紙おむつ、補聴器、電動アシスト自転車→「高齢化」
- ETC、LED電球、アイロン(形状記憶シャツ)、ウェブコンテンツ料→「技術革新」

こうして見ると消費者物価指数の品目から時代の変化を読み取ることができる。